

2021年度の目標 (ゴール)

- 幕張新都心における自動走行ロボットを活用したサービス実証

2021年度検討とりまとめ

- 地域のニーズを把握し、期待に応えるロボットを活用したサービスの検討
→実証実験の実施前であるが、モニター募集の段階で希望者数が想定を

大きく上回り、改めて地域のモビリティサービスへの関心の高さを感じたところ。あらゆる可能性に、視野を広げて検討を進めたい。

- ロボット走行の安全性を高める施策 → 道路インフラ等のハード面の環境整備で自動運転分野との連携を希望。

今後 (2022年度～) の検討事項

- 幕張新都心では来街者や住民に応じた自動走行ロボットの様々な利用シーンが考えられる。
→通年での実証を通じて、地域に応じたニーズを把握する必要がある。
- 状況やサービスに応じたロボットの使い分けや他サービスとの連携を考える必要がある。



<まとめ> 分野に限らず、多くのユースケースが想定されるため、コンソーシアム内で連携した実証の検討が必要。